

Link!

第9号

Contents — もくじ —

- P1 **Hot Topic!**
日本語ボランティア講師入門講座 2018
- P2 インタビュー企画「種まく人」
TIVONA の会 会長 小林和子 氏
- P3 Zoom Up!
医療通訳ボランティア養成講座・
メディカル英会話講座
- P4 Reports & Notice Board

Hot Topic!

日本語ボランティア講師入門講座 2018

20 18年9月上旬、日本語ボランティア講師養成のための講座を開催しました。これは協会が開いている外国人のための日本語教室のボランティア講師を養成するための講座です。週末の4日間延べ15時間、日本語教育や教室の進め方など、外部／協会教室の講師によるレクチャーやボランティア経験者を加えての情報交換など盛りだくさんの内容でおこなわれました。

日常的に日本語を使っている我々にとって日本語を教えるのは易しいことと考えがちですが、日本語の分からない外国人に教えるのはそんなに簡単な話ではなく、それなりの用意が必要です。日本語教育のための独自の方法が用意されており、講師をするためにはこれを知る必要があります。実際教室に出てみると、なかなかうまくはいきませんが、話が通じてうまくコミュニケーションが出来ると、このときはボランティアをしてよかったと感じる時です。

近年仕事を求めて来日する外国人が増えています。一般の入管法の改訂に伴いさらなる増加が見込まれます。彼らが日本社会に加わるために最初に必要なのがコミュニケーションのための日本語で、これを習得するために地域での日本語教育はますます重要になってくると考えられます。これを支えるのがボランティア講師であり、つくばでも人材が求められています。読者の皆様も日本語教育を勉強し、ボランティアの輪に加わってみませんか。やりがいのある仕事です。交流協会では来年度も入門講座を開催する予定にしていますが、皆様のご参加をお待ちいたします。（寄稿：前TIVONAの会 会長 清水晃氏）





種まく人 ～Seedfolks～

TIVONA の会 会長 小林 和子氏

当協会の日本語講座にご協力頂いているボランティア講師の団体TIVONAの会に、平成30年に会長として就任された小林和子さんにお話を伺いました。

私の歩み

私の専門は日本近代文学ですが、28年前に1年ほど主人についてアメリカ・シアトルのワシントン大学へ行きました。本務先を休職しての渡航でしたので、私もワシントン大で学べたらと思い日本語日本文学科を訪ねると、そこの教授から「サバティカルの先生の代わりにぜひ教えてほしい」と頼まれ、大学院のゼミや学部の日本語上級クラスの授業を持つことになりました。それが日本語教育との出会いです。

一方、英語がもともと苦手だった私は、アメリカでの幼い子連れした日常生活の中で、自分のつたない英語のために恥ずかしい厭な体験も沢山しました。でも、そのことがきっかけで語学の大切さも学びましたし、帰国後この街に暮らす沢山の外国の方々のために何かできればと思うようにもなりました。そのような時に丁度この「日本語教室」が始まり、ボランティア講師として参加させていただき、講師同志の親睦や情報交換が大事という思いから「ティボナの会」を結成したのです。

日本語教室に関わるに至ったきっかけは今お話ししたような事情でしたが、もともと地域のボランティアに参加してみたいという気持ちもありました。職場が遠く、仕事と家事育児に追われる生活の中で、自分が住む街・つくばにお友達を作りたいという思いがあったからです。日本語教室、ティボナの会に参加することで、性別も年齢も住む地域や背景も全く違う方々と出会うことができ、その中でいろんなことを教えていただきました。その方たちに今までの感謝をぜひ伝えたいと思ったのが、一昨年オークラで「25周年記念パーティー」を開いた一番の理由でした。日本語教室や国際交流を入り口に、地域で生きていくための貴重な出会いの場を見つけられたと感じています。

講師として活動する中での感じたこと

ボランティアによる地域の日本語教室というのは、講師も生徒さんもここに来ることが楽しいと思えるような

教室作りが一番大事なのではないかと私は思っています。講師も生徒さんから学ぶことが多いので、そういう機会になったら良いとも思います。

今クラスを手伝ってくれている筑波大学の学生さんがいます。彼女は日本語教育が専門ではないのですが、彼女が来るとクラスの雰囲気楽しくなって、話すのが苦手でいつも一人でいた生徒さんからも笑顔がこぼれるようになりました。「日本語を教えるのが楽しい」「国際交流が楽しい」と思う気持ちが一番大切だということを私は改めて彼女から教えられました。言葉は分からなくても、私たちボランティアの気持ちはすぐ生徒さんに伝わるので、ボランティア講師も楽しい日本語教室を目指したいと思います。

協会に求めることと今後の課題

場所の確保という問題が第一にあると思います。水戸市や守谷市には協会専用の立派な建物があります。1万人もの外国人が居住する国際都市・つくば市が狭い借り物の場所しかないのはとても残念です。つくば市中心部のビルの空洞化が問題になっている現在、どうにかならないのかと強く思います。

日本語教室の抱える問題としては、ボランティア講師の減少という深刻な問題があります。高齢化と専業主婦の減少を背景に、日本全体で地域のボランティアを担う人が減っています。そのことも、ボランティア講師自身が参加して楽しい日本語教室を目指していかなくてはと強く思う理由でもあります。



事業報告① **ZOOM UP!** 医療通訳ボランティア 養成講座

外国人が母国語での安心した医療機関受診を可能にするため、病院等での外国人患者と日本人医療スタッフ間のコミュニケーションをサポートする「医療通訳ボランティア」の養成及び派遣をしています。

2年に1度開講する養成講座を2018年10月6日（土）、7日（日）の2日間連続講座で実施しました。神奈川県で医療通訳ボランティアの派遣において日本の最先端を走るMICかながわから講師を招き、実践的な講義とロールプレイ演習、そして2日目には試験を行いました。

約15名の受講者から今回は5名が合格し、新たなボランティアが誕生しました。試験では言語スキルの他、傾聴や患者が安心して話せる雰囲気づくり、そしてわからないことをその場で調べたり、聞き返せたりする能力など、多岐に渡る能力が重要視されました。

2019年4月1日からは、協定締結医療機関への派遣に変わるなど、派遣制度も変化していきますが、とても社会的使命の強いボランティア活動なので、今後も、

外国人が母国語での安心した医療機関受診を可能にするため、病院等での外国人

医療機関と外国人患者の間の架け橋として医療通訳ボランティアが活躍し、外国人が安心して日本の医療を受診できる環境づくりに取り組んでいきたいと思っています。



事業報告② **ZOOM UP!** メディカル英会話講座

2018年10月8日（月）に、メディカル英会話講座という医療従事者向けの英会話講座を開講しました。この講座は、好評のため、3年連続で開催している事業です。病院受診の際の一連の流れ（受付から問診表の記入、医師の診察、支払や保険の説明、次回の予約）を英語対応できるようにするための1回完結型実践型英会話講座でした。

取り扱い診療科は、内科・小児科、産婦人科、受付、薬の処方と多岐に渡り、各回定員40名の講座は予想以上の反響があり、今回はじめて開講した受付に関しては定員いっぱいのお申込みがありました。

参加した医療従事者の方の多くは、役に立つ実践的な講座だとよい評価をしてくださり、また、日本と外国の医療の違いについて、講師の実体験に基づいた話も大変参考になったという御意見も非常に多く、大変好評でした。

当協会では、外国人が、母国語での安心した医療機関受診を可能にするため、病院等での外国人患者と日本人医療スタッフ間のコミュニケーションをサポートする「医療通訳ボランティア」の養成及び派遣をして

いますが、急な外来患者に対しては派遣が難しいので、医療機関での外国人対応が円滑に行われるよう、今後もサポートしてまいります。



Reports

こども日本語勉強会

小中学校の夏休みと冬休みの合計5日間、延べ43名の外国につながる児童生徒が日本語を勉強しました。ひらがなの練習をする日本語初心者から、もくもくと宿題を行うなど個性豊かな児童生徒の皆さんでした。また、筑波学院大学と共催で行っている、こども日本語指導者研修会修了者を中心とした方々延べ16名にご支援いただきました。学習言語と生活言語の関係が難しい子もいて、継続的な学習が必要だと思いました。

今回は2019年3月26日(火)、27日(水)の2日間、つくばイノベーションプラザにて9:30～11:30に開催します。皆さんの周りに日本語を勉強したい小中学生がいましたらどうぞお声がけください。



世界のうまいもんをつくばで!

つくばランタンアート共催による「世界のうまいもんをつくばで!」を2018年12月16日(日)に開催しました。SWiTつくばで国際交流しよう”プロデュースによるステージパフォーマンスと、筑波学院大学OCPの学生8名によるミャンマーと韓国の料理、UGANDA DIASPORA JAPANによるウガンダの料理の販売を行いました。



英語でつくばをテーマパークにしちゃおう!

つくばをテーマパークに見立てて、筑波大学の留学生と中高生が一緒にブレインストーミングをしながら楽しく話そうというイベントを2018年11月23日(金)、24日(土)の2日間に渡って行いました。元地質標本館研究員の玉生志郎さんによる「つくばの自然と歴史」、筑波学院大学准教授の亀田千里先生による「つくばの国際化」の2つのテーマについてレクチャーを受け、留学生とのペア又はグループで話し合いました。語学やコミュニケーション、国際理解に関心を持てることを目的として行いました。参加者からは、「難しかったけど楽しかった」「知らない英単語を見つけることができた」「外国の文化を知ることができた」などの感想がありました。



Notice Board

つくば市国際交流協会 2019年度 賛助会募集!

賛助会では、協会の活動の趣旨にご賛同いただける皆様からの資金面でのご支援を募っております。皆様からのご協力は、全ての事業でご活用させていただいております。

賛助会費

個人:1口 2,000円/年
団体:1口 10,000円/年
法人:1口 20,000円/年

2018年度賛助団体及び法人

(2018年4月1日から2019年3月31日まで)

(敬称略)

TIVONAの会、大和リース(株)、(有)丸市物産、常陸興行(株)、新日本補聴器(株)、桜南運輸(有)、ヘレナ英会話スクール

(法人会員6、団体会員1、個人会員159 合計166)

※その他、運営面をご協力頂く各種ボランティアを募集しています。詳しくは当協会HPをご覧ください。

世界お茶のみ話

～一杯のお茶から世界が見える～

つくば市には、実に多くの国の方々が居住しています。また世界で活躍する日本の方も多く、ひとり一人様々な背景を持っています。このイベントでは、ゲストの母国や関わりのある国をご紹介していただくイベントです。当日はその国の美味しいお茶を淹れてお待ちしております。

日時: 毎月第3土曜日

時間: 15:45～17:15

※3月のみ時間に変更になります

場所: Biviつくば2階 交流サロン

料金: 無料

●スケジュール

3月16日 アメリカ(13:30～15:00)
4月20日 マレーシア
5月18日 コスタリカ
6月15日 韓国
7月20日 スリランカ



編集・発行



(一財)つくば市国際交流協会

〒305-0031 茨城県つくば市吾妻1-10-1 つくばイノベーションプラザ内

TEL:029-869-7675 FAX:029-852-5513

ホームページ: <http://www.inter.or.jp/> メールアドレス: info@inter.or.jp